

小麦・大豆の国産化の推進

【令和7年度予算概算決定額 35（50）百万円】
（令和6年度補正予算額 5,008百万円）

（関連事業：共同利用施設の整備支援等 19,952百万円の内数
令和6年度補正予算 51,000百万円の内数）

<対策のポイント>

産地と実需が連携して行う**小麦・大豆の国産化を推進**するため、ブロックローテーションや営農技術・機械の導入等による**生産性向上**や**増産**を支援するとともに、国産小麦・大豆の安定供給に向けた**ストックセンターの整備**※や民間主体の**一定期間の保管**、**新たな流通モデルづくり**、更なる利用拡大に向けた**新商品開発**等を支援します。
※関連事業で支援

<事業目標> [平成30年度→令和12年度まで]

- 小麦生産量の増加（76万t→108万t）
- 大麦・はだか麦生産量の増加（17万t→23万t）
- 大豆生産量の増加（21万t→34万t）

<事業の内容>

<事業イメージ>

国産小麦・大豆供給力強化総合対策

35（50）百万円

【令和6年度補正予算】5,008百万円

① 生産対策（麦・大豆生産技術向上事業）

麦・大豆の増産を目指す産地に対し、**作付けの団地化、ブロックローテーション、営農技術・農業機械の導入**等を支援します。

② 流通対策

ア 麦・大豆供給円滑化推進事業

国産麦・大豆を**一定期間保管**することで安定供給体制を図る取組を支援します。

イ 新たな麦流通モデルづくり事業

麦の流通構造の構築に向けた**新たな流通モデルづくり**を支援します。

③ 消費対策（麦・大豆利用拡大事業）

国産麦・大豆の利用拡大に取り組む食品製造事業者等に対し、**新商品開発**等を支援します。

（関連事業）

強い農業づくり総合支援交付金

11,952百万円の内数

新基本計画実装・農業構造転換支援事業

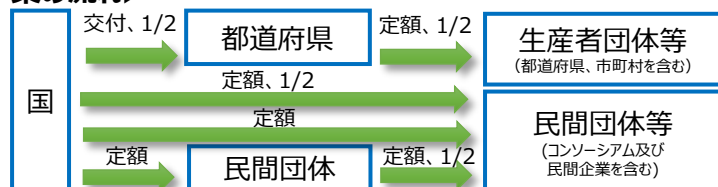
8,000百万円の内数

【令和6年度補正予算】40,000百万円の内数

産地生産基盤パワーアップ事業 【令和6年度補正予算】 11,000百万円の内数

産地と実需が連携して国産麦・大豆の取扱数量を増加させる取組を推進するため、増産に資する**乾燥調製施設の導入**、不作時にも安定供給するための**ストックセンターの整備**、国産麦・大豆の利用拡大に向けた**食品加工施設の整備**や**再編集約・合理化**等を支援します。

<事業の流れ>



（①の事業）

（②アの事業） [お問い合わせ先]

（②イの事業） （①、②ア(大豆)、②イ、③(大豆)の事業） 農産局穀物課 （03-6744-2108）

（③の事業） （②ア(麦)、③(麦)の事業） 貿易業務課 （03-6744-9531）

1. 生産対策



営農技術の導入
（定額）

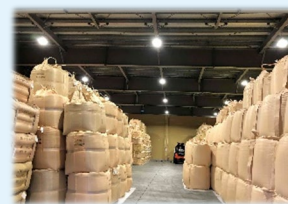


農業機械の導入
（1/2以内）



乾燥調製施設の整備※
（1/2以内）

2. 流通対策



- ・ スtockセンターの整備※（1/2以内）
- ・ 一定期間の保管（定額、1/2以内）

3. 消費対策



- ・ 新商品の開発（定額、1/2以内）
- ・ 加工設備・施設の導入※（1/2以内）

※関連事業で支援

麦・大豆の国産化を一層推進